

家畜衛生だより

最上家畜保健衛生所
最上地域家畜畜産物衛生指導協会
令和5年12月4日発行

今シーズン国内4例目

鹿児島県で高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認！

12月3日、鹿児島県出水市の家きん農場で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の疑似患畜が確認されました。

今シーズン、国内で4例目の確認となります。

発生の概要は以下のとおりです。

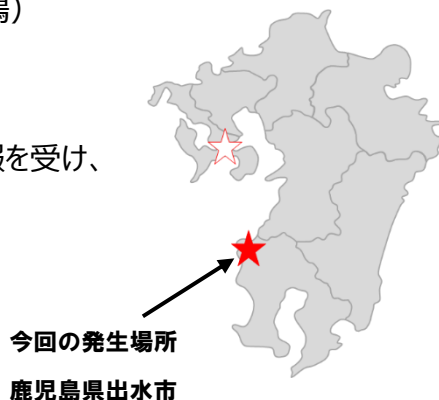
1 発生農場の概要

所在地：鹿児島県出水市 飼養状況：約2万3千羽（採卵鶏）

☆ 1例目（佐賀県）の発生場所

2 経緯

- ・12月2日、鹿児島県は、農場から死亡羽数が増加している旨の通報を受け、農場への立ち入り検査を実施。
鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、陽性であることが判明。
- ・12月3日、遺伝子検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜であることを確認。



飼養衛生管理基準を順守し、ウイルス侵入防止対策の徹底をお願いします

- 農場での人や車両の出入の際の消毒等の徹底
- 野生動物（野鳥など）の農場への侵入防止対策の徹底
- 飼養家さんを毎日観察し、万が一、飼養家さんに異常を発見した場合は、すぐに担当獣医師もしくは当所までご連絡ください

最上家畜保健衛生所 電話:0233-29-1357

飼養衛生管理基準を遵守し、
農場へのウイルスの侵入を防ぎましょう

☆農林水産省が作成した発生予防のポイントをまとめたリーフレットをご確認いただき、できるところから実践していきましょう！ ☆

（裏面へ続く）

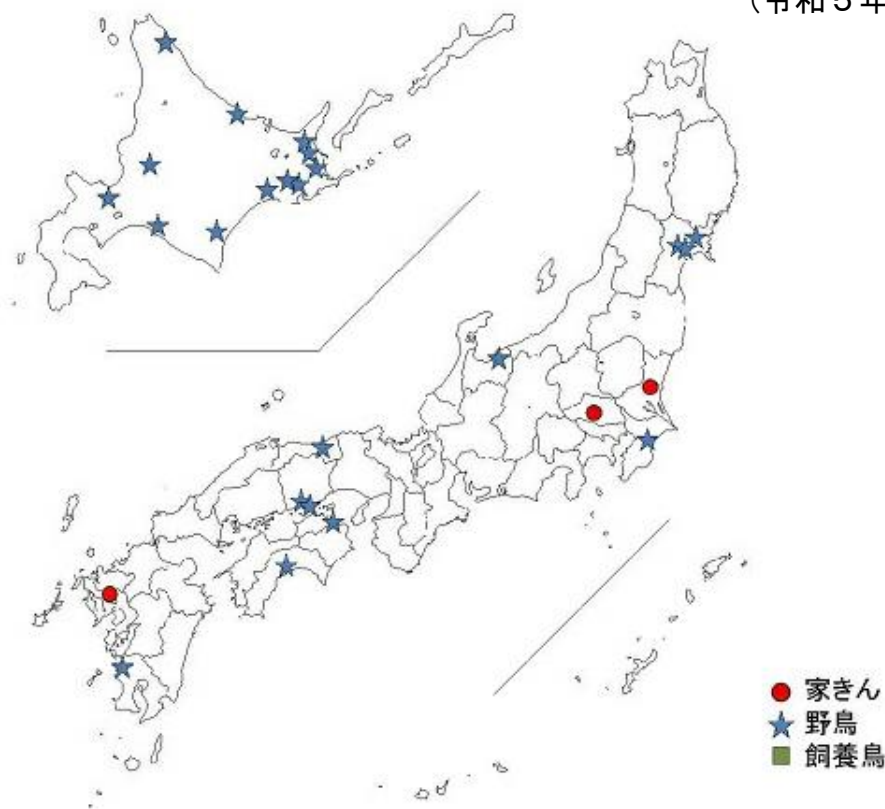
国内野鳥でも9道県42事例で高病原性鳥インフルエンザウイルス遺伝子が検出されています！

～これまで高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出された事例～

- ・道県：北海道、宮城県、茨城県、富山県、兵庫県、岡山県、香川県、高知県、鹿児島県
- ・鳥種：ハシブトガラス、ノスリ、オオハクチョウ、オオタカ、タンチョウ、オナガガモ、ヒドリガモ、ツミ、ハクチョウ、マガモ、ハヤブサ、コガモ、ナベヅル、
※環境材料（水）、糞便（カモ類）からも検出

《令和5年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況》

(令和5年12月1日時点)



農林水産省HPより

(https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r5_hpai_kokunai.html)

全国の野鳥での高病原性鳥インフルエンザウイルス検出事例も増えております。
今一度、畜舎施設（金網やネット等）を点検し、破損部位があれば修繕を！
ウイルス侵入防止対策の徹底に努めましょう！